

第25回薬学夏の学校in熊本 開催

県連ニュース

発行者：木原 望

TEL：096-387-2826
FAX：096-381-5442

8月25日(土)26日に第25回薬学夏の学校in熊本が開催されました。福岡・大分・長崎・熊本・鹿児島・沖縄から総勢45名、奨学生11名、職員34名が参加しました。会場は熊本県民医連の輪をテーマに熊本地震の支援報告が木原事務局長よりありました。その後、益城町のフィールドワークで被災地の現状を見て回り、被災者の交流会では、民医連の輪にちなみ大間知恵の輪で大盛り上がりしました。2日目の震災シミュレーションでは実際に起きた問題で大いに悩み、現場ではどう対処したのか松本医師のお話を聞いて学びました。災害時に求められるのは、民医連の無差別・平等の精神だと思った。民医連が普段やってきた活動が熊本地震の際にそのまま役に立っている事がわかった。などの感想が寄せられました。皆さんの御協力ありがとうございました。健康共同ファルマ

迫田 佐枝子



川内訴訟口頭弁論に参加しました

9月11日(火)川内原発訴訟口頭弁論が行われ、熊本からは民医連含め28名が参加しました。今回の口頭弁論では、原発の構造など難しい話しも多くありましたが、貴重な体験が出来たと思います。原発に関する知識はあまりありませんでしたが、福島第一原発の事故のことはショッキングで恐怖を感じたことを今でも覚えています。これまで住み慣れた土地に住めなくなることはとてもつらいことであり、その後その土地を離れた人たちが偏見や差別を受けてきたことや、福島に残った人たちが風評被害で苦しんでいることを聞くと、やはり安全性を第一に考えるべきだと思います。川内原発訴訟は10月に最終提訴となり、判決が出ることとなりますが、どのような結果であれ、安全な暮らしを守るためには、知識を共有し、脱原発・反原発の世論を高め続けていく必要があると思いました。

菊陽病院 地域連携室 堀川綾乃

